

No.155

みなと区議会だより



港区議会

〒105-8511(専用郵便番号)
港区芝公園1-5-25
電話 (3578)2111(代)

2004年(平成16年)1月31日

<http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

第4回定例会

12月4日～12月12日

第1回臨時会

1月16日



年頭のごあいさつ



港区議会議長
佐々木義信

あけましておめでとうございます。

区民の皆様には、健やかな新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。港区議会を代表して、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

港区議会は、昨年4月に改選され、区民の信託をいただいた34名の区議会議員が選出されました。

新しい議会構成の下、区議会は、区民の皆様が安心して生活できる港区を実現するため、区の施策を監視するとともに、区民の要望がその施策に適切に反映されるよう努力しております。また、開かれた区議会を目指して、議会改革のための諸課題にも取り組んでまいります。

本年は、都営バス路線の見直しに伴い、区民の皆様方のご要望となっておりましたコミュニティバスの運行がいよいよ開始されます。

一方、高度情報化の進展や少子高齢化の進行などによる社会構造の変革、市街地再開発による居住環境の変化、規制緩和などによる各分野でのポーターレス化等、港区を取り巻く環境は大きく変化しております。また、日本経済は、ようやく好転の兆しが見えかけてはいるものの、依然として不況感が払拭されておられません。さらにイラク情勢や北朝鮮問題、治安の悪化など私たちの生活に不安を与える要素も増加しております。

こうした状況のなかで、私たち区議会議員に課せられた責務は、区民の皆様が安心して暮らせる、住みやすい港区を実現することです。その目標に向かって全力を尽くしてまいります。

本年も区議会に対し、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

議長
副議長

佐々木義信
山越 明

阿部 浩子

なかまえ由紀

樋渡紀和子

杉本とよひろ

七戸 淳

森野弘司郎

菅野 弘一

いのくま正一

熊田ちづ子

小斉 太郎

秋元ゆきひさ

古川 伸一

矢野健一郎

杉原としお

岸田 東三

鈴木 洋一

星 野 喬

風見 利男

湯原 信一

達下まさ子

林田 和雄

清水 一郎

井筒 宣弘

きたしろ勝彦

鈴木たけし

沖島えみ子

北村 利明

渡辺 専太郎

藤本 潔

横山 勝司

島田 幸雄

大蔭 幸雄

(議席番号順)

職員の退職手当を削減する条例を可決

安全安心のまちづくりのため、防犯カメラ設置の補正予算可決 学校設置条例の一部を改正する条例可決(飯倉小学校の廃止)

平成15年第4回定例会は、12月4日から12月12日までの9日間にわたって開会されましたが、一部審議未了の議案等があるため、平成16年第1回臨時会を1月16日開会し、予定した案件の審議を終えました。

定例会では、14人の議員から区長、教育長に対して、介護保険の歳入確保、職員住宅運用方法の見直し、乱開発への税金投入は背信行為、港区の治安・安全対策、費用弁償に対する課税、区立中学校の適正規模・適正配置、職住共存の都心生活のルールづくり、ひとり親家庭や多胎児家庭への支援、集合住宅におけるリバースモーゲージなど区政全般にわたり、代表・一般質問が行われました。(要旨3面～5面参照)

第4回定例会の議案審議等では、区長から提出された案件16件を可決し、(詳細8面参照)皆さんからの請願については、7件を採択し、22件を継続審査としました。(2面参照)なお、学校設置条例の一部改正については、区民文教常任委員会において否決されましたが、本会議では可否同数のため議長裁決で可決となりました。

臨時会では、区長から提出された案件2件について原案どおり可決し、(詳細8面参照)提出された請願1件については継続審査としました。(2面参照)

議員提出による案件は、条例改正案1件を継続審査とし、意見書4件を関係機関へ送付したほか、区長に対し介護保険に関する要望をしました。(2面・8面参照)



区民のみなさんから出された請願について

採択した請願

▼芝公園二丁目住民の生活安全に関わるワンルームマンション「(仮称)アビテ芝公園」に関する請願

(要旨) (仮称)アビテ芝公園の建築にあたり、プライバシー保護等に配慮した設計に修正するとともに、建築主に対して、近隣との管理協定を締結し、遵守するよう指導されたい。

▼小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税の減免措置の継続につき意見書の提出を求める請願

(要旨) 小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の減免措置が、今年度同様、平成十六年度以降も継続されるよう、東京都に対し意見書を提出されたい。

▼都市計画税の軽減措置の継続につき意見書の提出を求める請願

(要旨) 小規模住宅用地にかかる都市計画税の軽減措置が、現行のまま平成十六年度以降も継続されるよう、東京都に対し意見書を提出されたい。

▼小規模非住宅用地に係る固定資産税の軽減措置の継続・拡大等を求める請願

(要旨) 固定資産税、相続税の大幅減税を求める区民大会を開催されたい。

▼「デュークガーデン元麻布建設計画」に関する請願

(要旨) デュークガーデン元麻布建設計画について、造成の許可申請を行なうよう、十分な地盤調査と必要な設計・設備を施すよう建築主を指導されたい。また、安全性が確かめられた後でなければ、容易に建築確認をおろさないよう図られたい。

▼「デュークガーデン元麻布新築工事」に関する請願

継続審査とした請願

三田5丁目23番地新築計画案から裏道(生活道路)の安全を守るための請願

(要旨) 日常安心して利用している生活道路の安全を守るため、(仮称)グラース白金高輪新築計画における駐車場の出入口を「第1国道」沿いに変更するよう建築主及び関係機関に働きかけられたい。

▼港区白金1丁目25番高層マンション建設計画に関する請願

民間人保護の国際人道法であるジュネーブ条約追加議定書ならびに、国際刑事裁判所(ICC)の速やかなる批准を日米両政府に求める意見書採択に関する請願

▼無差別殺戮兵器クラスター爆弾の使用禁止を求める意見書採択に関する請願

▼白金台五丁目公務員住宅跡地に関する請願

▼地元中小建設産業従事者の経営と生活危機打開のための緊急対策を求める請願

▼地元中小建設産業従事者の経営と生活危機打開のための緊急対策を求める請願

▼「デュークガーデン元麻布建設計画」に関する請願

(要旨) デュークガーデン元麻布建設計画について、造成の許可申請を行なうよう、十分な地盤調査と必要な設計・設備を施すよう建築主を指導されたい。また、安全性が確かめられた後でなければ、容易に建築確認をおろさないよう図られたい。

▼「デュークガーデン元麻布新築工事」に関する請願

(要旨) 「(仮称)デュークガーデン元麻布」の新築工事にあたり、地域住民の理解が得られる説明会を行なうよう開発業者を指導されたい。

▼「グラース白金高輪港区

▼「虎ノ門・六本木地区市街地再開発準備組合及び虎ノ門・麻布台地区市街地再開発準備組合」の長年にわたる街づくりへの取り組みに理解をいただき、当地区の街づくりの早期実現に向けて協力を求める請願

▼赤坂五丁目TBS再開発にあたり北側住居環境維持に関する請願

▼赤坂四丁目葉研坂北地区再開発計画に関する港区環境影響調査実施についての請願

▼政党助成金制度の廃止の意見書提出に関する請願

▼浜岡原発の原発震災を未然に防ぐことに関する請願

▼消費税の増税計画に反対する請願

▼育児支援・児童館施設等充実を求める請願

▼六本木七丁目区域出雲大社前の通りに則して、六本木通りへの横断歩道及び信号機設置に関する請願

▼青山通り、外苑東通りを走るコミュニティバスの運行を求める請願

▼旧鶴小校庭にある「みなとみどり子クラブ」のビオトープ・田畑を、ビオトープ公園に拡充する請願

▼東京都に対して、民間社会福祉施設サービス推進補助事業の再構築案を撤回するよう港区として意見書をあげてことを求める請願

▼介護保険料・利用料の減免制度の大幅改善を求める請願

▼東京都食品安全基本条例(仮称)制定に関する請願

▼(仮称)ルーブル白金式番館マンション計画に関する請願

▼審議未了となった請願

▼港区にフットサル場の設置を求める請願

▼未就学児保護者による飯倉小学校存続要求の請願

▼飯倉小学校統廃合に関する請願

▼飯倉小学校卒業生保護者による飯倉小学校存続に関する請願

▼2000年飯倉小学校卒業生による飯倉小学校存続に関する請願

議員提出議案

▼港区乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

意見書を提出しました要旨

国として介護保険の低所得者向け減免制度を確立することを求める意見書

低所得の高齢者のために、ただちに介護保険料と利用料の減免・軽減制度を確立することを強く求める。

内閣総理・厚生労働・財務大臣衆議院・参議院議長 あて

固定資産税・都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書

一 小規模住宅用地にかかる都市計画税の軽減措置を引続き平成十六年度以降も継続すること

一 小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の減免措置を平成十六年度以降も継続すること

東京都知事 あて

東京都食品安全基本条例(仮称)制定についての意見書

条例制定及び食品行政の推進にあたり、左記の項目に十分配慮されるよう強く要望する。

一 消費者の生命と健康を守るという視点を最優先にすること。

二 法で規格・基準がない食品で危害発生の可能性の有る物について、都独自の規制を含め対策を検討すること。

三 危害発生の未然防止措置を確立すること。

四 都内食品取扱者の衛生水準を高めていくこと。

五 消費者の意見が反映された「監視指導計画」が策定されるよう支援すること。

東京都知事 あて

渋谷川・古川多目的貯留施設整備に関する意見書

東京都が整備を計画している、渋谷川・古川多目的貯留施設の整備を早急かつ着実に進めるよう要望する。

東京都知事 あて

第4回定例会会議日程

12月4日 運営委員会 本会議
会期決定 諸報告
一般質問6名

5日 運営委員会 本会議
一般質問8名
議案等付託

8・9日 常任委員会
議案等の審査

10日 常任委員会
議案等の審査

11日 常任委員会
議案等の審査

12日 常任・特別委員会
委員長報告、中間報告
運営委員会 本会議
議案等議決

第1回臨時会会議日程

1月16日 運営委員会 本会議
議案等付託
区民文教常任委員会
議案等の審査
運営委員会 本会議
議案等議決

揺

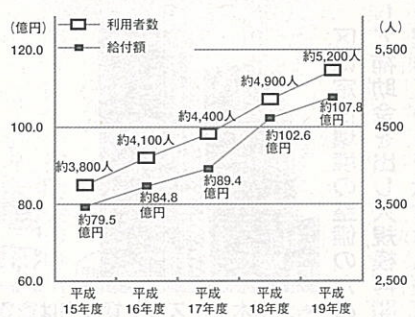
るぎない介護保険制度確立を

自民党議員団

質問 イラクの安定化とわが国の国益を守るため、尊い命を犠牲にされた外交官2名のご冥福を祈るとともに謹んで哀悼の意を表する。また、今定例会が12月招集となったのは、教委の不適切な対応による行政側の失態が招いた結果。今後、二度と起こらないよう強く要望し質問する。

介護保険が創設されて4年目であり、制度を検証する時だ。「港区介護保険白書」では、要介護者の増に比例し、介護給付費の増加も指摘している。今後の制度運営に危機感を持つ。区は、歳入の確保、保険料の収納率の向上、給付費の抑制に努めよ。(1)財政的基盤充実に寄付金を活用すべきと再三、提案してきた。早急に導入すべき。(2)他の自治体では給付検証システムを導入し、給付費を抑制中。膨大化する給付費抑制策を講じよ。(3)保険料、利用料は受益者負担が原則だが、生活困窮者への配慮も必要。議会から低所得者負担軽減対策の要望書を出し、一定の軽減策が取られている。しかし、今後、高齢者に対する新

港区介護サービス利用者と給付額(推計)



答弁 (1)寄付金の活用は可能。次期介護保険事業計画改定の中で検討する。(2)利用者や事業者等と連携し、内容や費用の適正化に努める。(3)独自の負担軽減策は一定の成果はあがっているが、一層の充実が必要。そのため、国の制度改正の検討状況を注視しつつ、生活実態に配慮し軽減策の要件緩和を検討中。

児童虐待の現状と防止策
質問 児童虐待は家庭内での発生が多く、外部の目は届かない。また、第三者が確認することは難しく、その対応は遅い。被虐待児童の半数は乳幼児で占める中、区の実況と発見された場合の措置は、また、予防策をどうするか。
答弁 養育困難等の原因の事例が多い。発生時には児童相談所に通告後、子どもの処遇方針決定のため、実態調査を実施。また、昨年度から啓発事業を、今年度は、防止マニュアルを作成し、関係機関に配布する。さらに、教委と連携して予防及び啓発に取り組む。

子ども医療費助成制度の創設
質問 前回の定例会で、「育児に際し経済的負担を軽減する意見書」を採択した。小6までの子どもの医療に係わる子ども入院医療費助成を実施すべき。
答弁 入院医療費助成を含めた医療費助成制度の拡充を検討中。

認定/無認可保育所に助成を

質問 国の「待機児童ゼロ作戦」で各自治体は、保育所の新設や民営化などの取組みを実施。区でも認定保育所の設置が、積極的に進められている。(1)認定保育所は、認可園待機児童の受け皿だけでなく、新たな需要にも対応している。しかし、認可保育園と同じ利用の場合、保育料は高額である。そのため、保育料差額分を補助している自治体もある。早急に実現を。(2)区内には、ベビーホテル(無認可保育所)も存在し、一定の利用者がいる。保育環境や保育料の面で認可・認定保育所と比較しても条件は劣る。同じ子ども達の保育環境に格差があつてはならない。基準を設け、施設補助や運営費補助など対策が必要。
答弁 (1)差額補助は、財政負担も考慮し、他の自治体の例や利用状況を参考に妥当性や実現性等を検討。(2)新たな補助制度の創設は考えていない。認定保育所B型への誘導を検討する。

付加価値の高い事業展開は
区予算は必要に応じて適切に活用すべきだ。また、財源の余力は、区百年の大計となる社会基盤整備に充てるべきと考える。そのためには、地域ビジョンを区民と共有し、区民と共に政策を実現していくための仕組みづくりが必要ではないか。負担し

た税金が、自らが協働する仕組みを通じ、港区のインフラ整備になれば、高い付加価値が得られたと思う。区民満足度の高い事業が、付加価値の高い事業なら、今後どのように具体化していくのか。
答弁 「創造型区政運営方針」により毎年度、重点分野を定め、事業化する。現在、質の高い行政サービスや安全性、快適性に配慮した事業の創出を検討中。16年度の創造型予算案で示す。

年金改革案に対する考え

質問 厚生労働省は年金改革案を公表した。国民の年金に対する不信や不安が増大している中、納付率の低下は年金制度の根幹を揺るがす問題である。自治体として改革案に対する考えは。
答弁 現在、調整が続いており、その議論に注目。制度の理解と信頼が得られる結論を期待。

「切れる」子ども達をなくすには

質問 (1)教育の根本は、人間教育。生きる力を育てる教育の中核は、精神力である。最近の子どもたちは、些細なことでも「切れる状況に陥りやすく、極端な行動にはしる傾向にある。忍耐強く、逃げずに対応できる精神力の育成が必要。(2)子どもたちが、先生とふれあい、温かな人間関係を築いていく場合は、成長の上で必要だ。(3)放課後、余裕教室を使った子どもたちと先生とがふれあいで居場所作りを。(4)自然体験学習についてどう。
答弁 (1)心の教育に力を注ぎ、道徳教育を推進中。また、体験活動を通じ、やり抜く気持ちや我慢する心など精神力を育てることに努める。(2)ふれあう時間と場所に学校図書館の整備や部活動を充実する。また、信頼関係

がもてる学校環境を整備する。(3)学力向上や文化活動等の場として確保できるよう検討。(4)補助金支給基準を策定し、小・中学生が参加できるよう整備。

地域パトロールで治安対策

質問 4月から「安全で安心できる港区にする条例」がスタート。安心して暮らせる街にするには、個人個人が防犯、危機意識を持ち、街ぐるみで一体となった取組みが肝要。地域の治安対策に警備会社によるパトロール、町会・自治会を中心とした自警団の組織づくりや支援が必要では。
答弁 既存の防犯組織の活用とともに、新たな体制づくりも検討しながら、事業を進める。

備えあれば憂いなし

質問 (1)消防団は、ポンプ操作訓練などに常に関与管理へ対応している。災害発生時には、消防団の活動は不可欠。一定の装備品は、都から支給されているが、十分とは言えない。区も支給すべき。(2)最近、地震が多発しており、東京圏も例外ではない。避難所の整備の中でも、災害時トイレの確保は重要な問題。今後どのように整備していくか。
答弁 (1)装備品支給は、都の役割だが十分でない。区は消防団の意見を聞き、支援していく。(2)現在、6基の仮設トイレを設置できるマンホールを整備。今後、区立公園の改修などの際整備。また、開発事業者に対し整備方を要請していく。

高齢者口腔ケア対策

質問 先の決算委員会でも歯科保健衛生の重要性を指摘。特に、高齢者施設入所者の健康管理や機能維持に、口腔ケアは重要だ。現状と今後の取組みをどう。
答弁 (1)電波障害対策にはケーブルテレビが最善だが、具体的対策は、(2)原因者負担金制度は今後の課題だが、財源の確保については、当面「定住協力金」の活用を。
答弁 (1)平成16年度から幹線ケーブル設置地域を拡張、加入促進

答弁 特養ホーム入所者の定期的な検診を実施中。今後も、歯科

職員住宅の空室は痴呆性高齢者グループホームなどに活用を

公明党議員団

質問 (1)区職員住宅は、老朽化等で、特に単身住宅の入居率が低い。改修工事や運用方法の見直しが必要。(2)高齢者支援施設等に利用・運用する考えはあるか。
答弁 (1)災害対策上の意義を踏まえ、改修による入居者確保、廃止、転用について検討。(2)また職員住宅の検討をはじめ、転用の場合は、高齢者支援施設としての利用も選択肢に含め検討。

児童虐待防止対策について

質問 児童虐待防止法施行3年目。相談や通告件数が急増し、課題が生じている。区の現状と関係機関との協力・連携の考え方は。
答弁 受理件数は年々増加している。児童相談所で調査後、区、学校、医療機関、民生・児童委員等と連携し援助策を決定する。

アレルギー対策について

質問 (1)状況把握のため、実態調査を実施。(2)相談窓口設置、専門医との連携強化の体制づくりが必要。(3)学校での啓発活動や児童の心のケアが必要。(4)医療機関、学校関係者、区民代表等で検討委員会を設置すべき。
答弁 (1)平成11年都が実施した「アレルギーに関する3歳児全都実態調査」に基づき、乳幼児健診等で相談に応じている。(2)



▲区で発行しているリーフレット

公明党議員団
代表一般質問

(3ページ下段より続く)

乳幼児健診等で早期発見し、医師、保健師等による相談、専門医療機関への紹介を実施。(3)小学校3年生に、副読本を配布。心のケアは、養護教諭が校医と連携し、対応している。(4)発症や悪化は住環境の変化等、専門的な問題が係わっており、検討は国や都の役割と認識している。障害者支援費制度充実に向けた取り組みを

質問 国の支援費の補助金交付が危ぶまれている。(1)区が受ける影響は。(2)区長会は国に要望書の提出を。(3)サービス低下は避けるべき。

答弁 (1)国は昨年度の実績額は確保としており、区の利用見込額はこの範囲内におさまる。(2)平成15年11月に厚生労働大臣に、需要拡大を踏まえた予算措置、支給実績に応じた補助金交付等の要望書を提出した。(3)サービスは低下させない。

乳幼児から読書に親しむ環境づくりを
質問 (1)「朝の読書」を全区立小中学校で実施を。(2)0歳児健診時に「ブックスタート」を実施する考えはあるか。

答弁 (1)現在、全小中学校で、「朝の読書」以外にも「読書の時間」

代表

12月4日・5日

一般質問

(要旨)

質問 区は定住環境の整備のためとして補助金を出し大規模再開発を進めているが六本木ヒルズでは計画前約千九百人いた住民が現在では四六〇人程になった。六本木ヒルズの住宅は一番安い部屋でも家賃は月28万。月100万、300万のタイプが並び最高は月450万。住宅に困っている方が多い。大規模再開発は区民にいかなるメリットがあるのか。区内



▲六本木ヒルズの賃貸住宅は家賃月数万

質問 再開発事業の住宅は良好な環境で住宅の供給を促進し快適な生活空間を形成するため整備されるもの。補助金は緑地、広場等オープンスペースの整備及び権利変換計画作成等に使われている。住宅部分では供給処理施設や機械室等の共用部分の整備に助成している。都心に整備される住宅なので様々な商業集積や歴史文化・芸術集積により優れた生活環境に恵まれている。権利者用住宅や新たな住民のニーズに対応する住宅が生れてい

共産党議員団
の大規模再開発事業で住民自ら企画、立案、発想したものはない。行政と事業者が主導して住民をまきこみ、住民はしくみも知らされず生活再建築も明らかにならないままのものほとんど。開発会社主導の乱開発事業に区民の血税を注ぎ込むのは区民への背信行為ではないか。

質問 防衛庁跡地には54種類42本の樹木があったが三井不動産は301本を伐採しようとしており既に約100本の樹木が伐採された。計画地内への移植の可能性を追求させる指導、計画地以外への移植の指導、移植先の斡旋、伐採計画の凍結を。

質問 商店街高齢者等宅配制度の来年度試行を
質問 商店街が共同で高齢者や障害者、共働き世帯等、希望者から注文を受け自宅まで配達する制度を提案する。高齢者等の安否確認、地域コミュニティの育成にもつながる。各商店街と

質問 区内の歩道上に不法に駐車しているバイクは、多くの歩行者に対して障害になっているだけではないか。非常に危険な状況にある。バイクを止める場所がないことも要因ではないか。そこで、提案として、路上にあるパーキングメーターを一部バイク向けに転用したらどうか考えるが、区長の考えを。また、白金高輪駅に隣接して国が駐車場を整備

老朽化マンションの建替え支援
質問 マンション発祥の地ともいえる港区では、築30年以上のマンションは、180棟もあり、3万9千人が居住しているといわれている。街づくりの諸課題の中でマンションの建替え支援こ

森

ビル等の乱開発への税金投入は
区民への背信とも言うべきもの

質問 (1)「安全で安心できる港区にする条例」を活用し、防犯対策に取り組んでいるか。(2)子どもの安全確保対策を教育面も含めて伺う。(3)防犯活動支援には、ソフト・ハード両面での補助体制強化が必要。(4)防犯に関する情報を公開すべき。(5)「空き家」解消は警視庁等に申し入れを。

質問 現行制度を見直し、学校・地域・区が学校運営に関わる学校評議会の導入を。

質問 2コースだけでは区民の理解が得られていない。福祉会館等身近な場所に参加しやすい時間帯に説明会を行うべき。これまでの説明会等で出された建設的な意見を入れたコースに変更すべき。交通不便な港南、青山地域での運行、低床式、車イス対応バスの採用、ワンコイン料金、乗継ぎ券の発行を。シルバーパスが使えるようにすべき。

質問 紛争予防条例について次の様な改正を行うべき。(1)標識設置時期を大幅に早める(2)隣接、近隣住民は町会・PTA等を含める(3)住民の申し出があった場合の事前協議の義務化(4)説明事項は条例で定める他は事前協議で決める(5)建築主は説明会等に出席する(6)建築主は説明会で住民の理解を得るものとする(7)関係者は工事着手前に協定の締結に努力する。また、解体工事も紛争予防条例の対象とすべき。

質問 近年、我が国では犯罪が増加しており、港区も例外ではない。区民や区内関係機関等との連携を図り、「港区生活安全協議会」を設置し整備している。また、全ての児童の安全を確保するため、緊急時における学校・児童施設・警察等の連絡体制を確立した。児童の安全確保と防犯意識向上のため、区内在住の全ての小・中学生に、防犯ブザーを貸与することを検討する。

質問 数年間で、「日本は世界一治安が良い」と言われてきた。最近では、凶悪犯罪があとを絶たず、また青少年が犯罪に巻き込まれるケースも多い。現在の港区を取り巻く安全・治安の状況が著しく悪化しているが、区長の所見を。さらに、今年に入り、子どもの連れ去り事件が多発している。子どもを守るためには、家庭はもとより、地域や行政の支援も不可欠であり、子どもに防犯ブザーや笛の支給や貸与を検討すべき。

等を設置している。(2)効果的な「ブックスタート」を展開するため、関係機関等と検討する。

もの安全確保に努める。(3)ソフト面では活動経費を補助し、ハード面では防犯カメラ設置等の補助制度を設けている。(4)警視庁から試験的に送られる犯罪情報等の周知方法を早急に検討する。(5)関係当局で警察官の増員を検討。交番設置は警視庁等に要望する。

相談し高齢者にFAXを貸与する等の支援を行い来年度からモデル事業として試行してどうか。また空き店舗を区が借り上げ、障害者団体の物品販売の場に活用してはどうか。

質問 区商連が研究しているネット事業は将来の配達事業も視野に入っている。この進捗に合わせ必要な支援をする。福祉作業所等の商品生産は未成熟。空き店舗の活用は考えていない。

質問 数年前まで、「日本は世界一治安が良い」と言われてきた。最近では、凶悪犯罪があとを絶たず、また青少年が犯罪に巻き込まれるケースも多い。現在の港区を取り巻く安全・治安の状況が著しく悪化しているが、区長の所見を。さらに、今年に入り、子どもの連れ去り事件が多発している。子どもを守るためには、家庭はもとより、地域や行政の支援も不可欠であり、子どもに防犯ブザーや笛の支給や貸与を検討すべき。

回答 委託は区民、保護者の不安を解消する内容とし関係者の理解を得て方針を決定する。

港

区の治安・安全対策について

民主クラブ



▲歩道上に駐車されているバイク

(4ページ下段より続く)

そ、今すぐ取り組む課題。そこで、次の3点について伺う。(1) 建替えに際し、区営住宅・区民向け住宅を含めた仮住居の提供を区として考えられないか。(2) 築年数を経る中で、日影規制等規制が強化された影響で、従来の面積を確保できない、いわゆる既存不適格マンションの建替え支援について、区としての考えは。(3) 現在、住宅公社も含めた港区での建替え支援の窓口は、3箇所あり混乱をまねく区として、マンション建替え支援のプロジェクトチームをつくり、窓口の一本化をすべき。

答弁 (1) 区民向け住宅は、募集時に多くの応募があり、仮住居の要望に応えることは困難。仮住居の確保については、今後、東京都との連携などにより、支援

費

用弁償に対する課税／シルバー人材センターについて

オンブズマンなど「一票の会

質問 議員の費用弁償一日6,000円については、実際の交通費(日額旅費)なら、それとして整理し実費弁償とすべきだが、当面は、議会で結論が出ていない現状では、区として源泉徴収すべき。

答弁 条例に基づき、日額旅費として支給し、源泉徴収の対象ではないと判断している。議会での検討結果を踏まえ所轄の税務署と協議するが、現時点での源泉徴収については、慎重に対応する。

山形交流会における区長発言の真意
質問 区長は、11月5日に飯倉小と山形市形町と開かれた交歓会での席上、「山形交流会が末永く続くことを願っています」という挨拶をした。区長ご自身

に努める。(2) 既存不適格マンションの問題は、大きな課題であり、将来を見据えた区の土地利用方針に沿った建替え等を基本とし、敷地の共同化の推進や総合設計、既存建築物の実態を踏まえた地区計画の活用を図るべきと考えている。今後、地域住民と連携しながら、良好な住宅市街地の形成に取り組んでいく。

質問 (1) 理事の選出は、「理事幹事選出要綱」に基づき選出。各行われているのか。また、理事に託された使命の一つに仕事の創出があるが、結果が見えてこないが。(2) 受注した仕事の配分については、公平性と公正性が担保されるべき。(3) 会計報告については、解りやすい報告に。また、配分金の決定基準。材料費、事務費の比率のきめ方は、センター規則に従っているのか。



立中学校の役割を見直し、適正規模を確保して再配置せよ!!

質問 学校選択希望制が導入されたことによって、区立中学校の適正規模・適正配置の方針に変化はないのか。

答弁 区立中学校の「港区としての小規模校」の基準は、「安定して200人程度が確保でき、各学年が複数で全学級数が6学級」である。「港区立小・中学校配置計画等検討委員会」の答申を来年三月に受け、区立小・中学校全体の適正規模・適正配置の実現に向け取り組む。

質問 街を清潔できれいにするために質問 交差点等に設置されている灰皿を撤去し、街をきれいにするために努力すべき。

答弁 「みなとタバコルール」を定着させ、歩行喫煙防止のためにも区内全ての灰皿を撤去していく方針。

質問 電話ボックス等に貼られたサラ金広告を規制するための条例制定を図れ。

答弁 屋外広告物法や軽犯罪法などの法令に基づく対策を第一に撤去活動を強化する。

質問 (1) 理事の選任は、民主的に

理事は、広報活動などを通じ、事業拡大に努めているが成果は十分あがっていない。重要な課題と認識しており、就業拡大に取り組みとのこと。(2) 毎月全ての会員に配布している「事務局だより」に就業内容を掲載し公募している。応募者多数の場合募集している。(3) 配分金は、「事務費規定」に基づき決定。区は、今後も会員により多くの配分金が分配されるよう働きかける。

みなとかがやき

「べき」という私たちの考え方に対し、これまでの質疑を通じ、区長の「使い切る」姿勢は明らかになっている。確認を。

答弁 税金は区民サービス充実・向上に活用。基金に積立て社会基盤整備に努める。変わらない。行政改革を進め減税を行うこと

質問 区長の姿勢では、「過剰なサービスを求めないかわりに税金負担を軽く」という区民意思が、永遠に区政に反映されないことを意味する。反論はあるか。

答弁 租税の本来の性質を考慮すると、「過剰なサービスを求めないかわりに減税を」という考え方は、広く区民の理解は得られない。減税の選択肢はない。

青山北町都営住宅の建替計画
質問 東京都の状況を港区としてどの程度把握しているのか。

答弁 問合せするものの「具体的建替計画は決定していない」との回答のみで状況は明らかになっていない。

質問 当該計画は青山の環境に重大な影響を及ぼすもので、住民の多くは大幅な街並の更新を望

んでいない。港区として計画段階から積極的に関与すべき。

答弁 計画が明らかになった段階で事業者に指導するなど適切に対応していく。

職住共存の都心生活のルールづくり／建築紛争予防条例等の見直し／学校給食業務等委託の促進

区民クラブ

質問 (1) 職住共存の問題は、関係する法令等だけでは、規制が困難な課題。法令の隙間を埋める地域のルールづくりをどう支援するか。(2) 地域住民が主体となった計画的な街づくりを進める地区計画に取組め。(3) 紛争未然防止や良好な近隣関係保持のため、紛争予防条例やワンルームマンション指導要綱の見直しを。

答弁 (1) 都市生活のルールづくり手引書をもとに支援。また、市内連絡協議会設置など体制を強化し取組む。(2) 都市計画の提案制度を含め、地域住民と連携した街づくりに取り組む。(3) 事業者の責務の強化や誘導策を見直す。

質問 (1) すでに23区中18区が学校給食を民間委託で実施している。教委は「食の教育」や民間委託に対する保護者の不安に配慮した事業者選定をすべきである。(2) 公の施設の管理は、一般の地方自治法の改正によって、株式会社を含めた民間に業務を代行させることが可能となった。導入に向けた検討は。

答弁 (1) プロポーザル方式が安易に年内に方針を決定し、来年1月には実施校の特定と保護者へ説明し、事業者の選定を進める。(2) 事業目的により、直営や外郭団体に委託している。今後、早急に庁内組織を設け、検討する。

仲間へ勇気の会

質問 ひとり親家庭の実情に合った手当やホームヘルプサービス等の施行を。ひとり親になった直後の支援の重点実施等、細かい配慮も必要。また交流の場でもある港区母子福祉会がより活性化するように協働関係の充実を。

答弁 区は、児童扶養手当や児童育成手当に加え、医療費助成を実施。就労支援策として、母子家庭自立支援給付金事業も検討中。また、港区母子福祉会に関しては、今後も支援していく。

質問 多胎児家庭に児童手当の割増や、娯楽費等を補助する「ひとり親家庭休養ホーム事業」の適用を。また、「育児サポート子むすび」の利用者増に合わせ協力会員も増えるよう支援を。

答弁 実態把握に努める。また、協力会員確保を支援していく。なお、育児世帯への産褥時の家事育児支援事業を検討中。

質問 子育て用品のリサイクルを推進し、子育て時の負担軽減を。

答弁 今後は、各児童館でもリサイクル等の情報提供をしていく。

質問 港区における資源抜き取りに対する見解と今後の方針は。

答弁 禁止するビラの掲示やパトロールで注意を促している。安定的な資源回収のため、今後、集団回収への参加促進などの防止策に積極的に取り組む。

集合住宅にも保証人なしのリバースモーゲージ制度の導入／港区をバリアフリーのまちに

ネットワークみなと社民

質問 (1) 武蔵野市のように集合住宅にも保証人なしで持ち家を担保とする生活費の貸付を。(2) ①歩行者や車と共存できる総合的な自転車政策の取り組みを。②自転車・自動車・車椅子・ベビーカーや視覚障害者の方々が生でできるバリアフリーのまちを港区から実現し、発信すべきではないか。(3) ①カラス対策の現状は。②ごみの分別を周知し、ごみからリサイクルへの循環型社会へと取り組むべき。(4) ①港区独自の住宅の耐震補強に取り組みべき。②区の備蓄物資は、被災者を2万一千人しか想定せず、簡易トイレも40個しかない。昼間人口も考え、備蓄物資の充実に取り組むべきではないか。

答弁 (1) 港区においての課題を十分検討し、区独自の制度が可能か調査する。(2) ①自転車道の設置は今後の課題として放置自転車対策も含めて、総合的に取り組む。②誰もが安心して暮らせる港区を目指し、バリアフリーのまちづくりを進めていく。(3) ①事業系のごみの排出指導強化と防鳥ネットの利用促進でカラス被害が減少するように努めていく。(4) ①災害に強い街づくりを推進していく。②備蓄物資の充実に努めていく。



迎えて

―各会派の抱負―

自民党議員団



島田 幸雄



きたしろ 勝彦



岸田 東三



森野 弘司郎



大蔭 幸雄



鈴木 たけし



鈴木 洋一



菅野 弘一



佐々木 義信



井筒 宣弘



杉原 としお

あけましておめでとうございます。港区民の皆様には、お健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。港区民の皆様には、お健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

常日頃から自由民主党にお寄せいただいているご厚情と温かいご支援に対し、厚く御礼申し上げます。皆様のご支援にお答えすべく自由民主党議員団一同、今後も努力精進してまいります。

港区の世帯人口は、昨年12月の時点で、9万一千820世帯、人口16万七千17人、他に外国人登録者数1万七千307人で平成7年の最少時より、約3万人増加しています。平成20年までに港区に事前協議がされているマンション建設戸数は、約1万五千戸あり、今後も定住人口の増加が見込まれています。昼間人口も昨年オープンした汐留シオサイト、六本木ヒルズ、品川グランドcommons等への来街者を含め、100万人を超える人々が活動しており、港区は益々の発展が予想されます。

自民党議員団は、日々変化する港区のニーズを先取りし、的確な街づくりや「安全、安心、住みやすい街づくり」を目指します。本年新規事業として、わが会派が要望したコミュニティ・バスの運行が6月から始まります。さらに、新橋地区に特養を含めた複合施設や区立住宅建設などへ民間活力導入の実現を図ります。今後も皆様のご意見を頂きながら区民福祉の向上を同時に目指してまいります。

共産党議員団



沖島 えみ子



星野 喬



いのくま 正一



北村 利明



風見 利男



熊田 ちづ子

新年明けましておめでとうございます。

日本共産党区議員団6名は、みなさまのご期待に応えるため全力でがんばっています。

小・中学校へのエアコン設置、介護保険料・利用料の軽減の拡大、屋上緑化への助成制度の創設、小規模業者のための簡易登録制度の創設、コミュニティバスの運行の具体化、等々を実現してきました。

今年は、区長選挙、参議院選挙の年、区民・国民の声が生きた政治実現にむけ、一層の奮闘をと決意を新たにしています。

区民生活は、不況、リストラ、賃下げ等々で大変な状況にもかかわらず、小泉自・公政権は、年金改悪、消費税増税、地方自治体への補助金のカット、国民の反対を押し切って米大統領にいわれるままイラクへの自衛隊派兵を強行しました。

区民生活を守る地方自治体の役割はますます重要になっています。しかし、現区政は地方自治体の本旨を忘れ大企業の開発優先です。飯倉小学校の廃校強行は、区長・教育委員会の区民不在・無視、子ども達の教育などまったく考えない姿勢を示したものです。

全国トップレベルの港区の財政を区民のくらし・福祉・中小企業・教育に生かし、区民の声を反映する区政実現のため、みなさんと力を合わせてがんばります。

今年もよろしくお願い致します。

みなとかがやき



湯原 信一



小斉 太郎

新春にあたり、区民のみなさまに謹んでご挨拶申し上げます。

みなとかがやきの二名の所属議員は共に三期目の任期を与えて頂きました。引き続き、行政に依存しない区政の実現・改革に全力で取り組んで参ります。

さて、昨今の港区政は混沌と停滞を極めております。その理由は、区長の政治的課題解決への意欲がみられないことにあります。税金が余る財政状況への対応、無秩序な開発動向への対応と区民主体のまちづくりへの転換、硬直化した学校の教育改革・民間との積極的な連携や活用など政治的決断を有する区政の課題は山積しています。

また、区政情報の積極的公開や十分な説明責任を果たすことも大いに求められています。

しかし、現区長にそれら課題を積極的、具体的に解決しようとする姿勢はありません。さらには、区長の姿勢に起因して事務執行の不祥事も相次いでおります。

私たちは、斬新な区政刷新を目指し提案と行動を続けて参ります。

【各会派の連絡先】

自民党議員団 (3578) 2927
公明党議員団 (3578) 2935
共産党議員団 (3578) 2945

民主クラブ (3578) 2938
みなとかがやき (3578) 2928
オンブズマンみなと・一票の会 (3578) 2969

港区民クラブ (3578) 2925
仲間へ勇気の会 (3578) 2926
ネットワークみなと社民 (3578) 2940

不在の場合は区議会事務局 (3578) 2920 へ

新春

公明党議員団



藤本 潔



達下 まさ子



杉本 とよひろ



山越 明



林田 和雄



古川 伸一

新年、明けましておめでとうございます。昨年、四月に地方統一選挙、十一月には、「政権の選択」が問われた衆議院総選挙がございました。公明党は、港区議会議員選挙では六名全員の当選を果たし、衆議院総選挙では、合計三十四名の議席を得ることが出来、比例区においては全国で過去最高の八百七十三万票を獲得することが出来ました。

わが国では現在、行財政改革・年金の制度改革・イラクの復興支援など内外ともに重要な案件を抱えておりますが、与党内での役割と責任が一段と高まったことを踏まえ、「生活者の目線」から問題解決に向けて頑張っております。

また、地方分権一括法が施行され、明年で五年目を迎えます。港区は区民に最も身近な基礎的自治体として、責任ある対応が求められております。

本年は、新たな港区基本計画が策定されて二年目に入ります。少子高齢化対策の充実、景気回復に向けての中小企業対策、従来にもまして積極的な取り組みが求められている環境・教育施策等、諸課題の解決に向け全力で取り組んでまいります。そして、誰もが安心して住み続けられるまち、やすらぎあるまちの実現を目指します。区民の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念するとともに、皆様の変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。

民主クラブ



清水 一郎



七戸 淳



横山 勝司



矢野 健一郎

新年あけましておめでとうございます。昨年は、政府の経済対策等により、景気回復にもやっとな見え始めてきてはおりますが、依然として大型倒産や中小企業への貸し渋り等深刻な問題を生じており、その先行きには不透明さが残っております。また、イラク問題、自衛隊の派遣や年金問題さらには、青少年の犯罪の低年齢化などの国内外での様々な課題が発生しております。一方、港区の財政状況は、平成十五年度の区税収入状況は、回復したものの予断を許さない状況にあります。しかしながら、財政、税収、開発文化とも全国自治体の最先端であります。

私も会派は、施策の是非を問いつつながら積極的な提言を行い、時には厳しくチェックしてまいりました。本年は、創業率においても産業育成を進め、新卒の就職率、中途採用、再雇用など新しい雇用を促進させ街を活性化させます。また、景気浮揚対策、若い人が住める総合的な定住対策、少子・高齢社会への対応、中高一貫教育制度導入も含めた魅力ある教育環境の整備、環境対策等の諸課題に取り組む、身近な区政の推進、並びに区民福祉の向上のため、これらの施策の実現に向け区民の皆様とともに、励んでまいります。皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

オンブズマンみなと・一票の会



秋元 ゆきひさ



樋渡 紀和子

新年あけましておめでとうございます。おめでとうございます。『東京タワーがどんなに小さくなくなってきた』というのがお台場を継ぐレインボーブリッジから見た区内の展望です。今や東京、港区のランドマークとしての存在感が失われつつあります。みわたせば高層ビル群に囲まれた東京タワーの存在感はそのままそこに住む区民の生活にも大きく影響を与えているように思えます。教育、環境、福祉のあり方、街づくり、防災、防犯等、いくつもの課題が都心区・港区にその未来への希望が住民の方々の分だけ行政、議会に寄せられていると考えます。しかし自治体の変化は地方自治体から多き動き出しています。「職員を削減し民間人を役所へ」、役所に勤める人は公務員でなければと自然に何の疑いもなく思っている方も多いかと思いますが、埼玉県志木市では将来、10分の1の職員を残しあとは多くの市民を雇用するとの計画を発表しています。

今年、6月には港区長選挙が予定されています。

ネットワークみなと社民

仲間へ勇気の会

港区民クラブ



阿部 浩子

新年あけましておめでとうございます。私は、昨年4月より「区民が主役の港区をめざしたい」という選挙公約の実現のため議会で活動し、初めての新年を迎えました。今年もより多くの区民の声を区政に反映させる決意です。「区民の悩みは私の宿題」として初心忘れることなく、全力で取り組みますので、今年もご指導ご支援下さいますよう、心からお願いたします。

本年が皆様にとってもよい一年になりますようにお祈り申し上げます。



なかまえ 由紀

新年あけましておめでとうございます。新春を迎え、区民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

皆様におかれましては、昨年はどのような一年でしたでしょうか。

港区議会では5月より新しい議会構成となり、様々な課題に取り組んでまいりました。私は本年も引き続き、生活環境に関わる身近なテーマを取り上げ、是非々の立場で区政全般に全力投球してまいります。

皆様にとってよい一年となりますように。



渡辺 専太郎

新年あけましておめでとうございます。常日頃からの区民の皆様のご厚情に感謝申し上げます。区内は、新しい街並みの出現や規制緩和等によるボーダーレス化など環境変化が進行しています。高齢化社会の中で安心して暮らせるまちづくりや職と住が近接する都心生活における諸問題など解決すべき課題が山積しています。これらの課題に対し、今後とも初心にたちかえり、全力で取り組んでまいります。今年一年、皆様のご多幸を祈念し、新年のご挨拶とします。

議案等の審議結果 各会派の態度 ○…賛成 ×…反対
(平成15年第4回定例会)

※略称 オンブズ…票の会…オンブズマンみなと…票の会
ネットみなと社民…ネットワークみなと社民

案 件 名	自民党 議員団	公明党 議員団	共産党 議員団	民 主 クラブ	オンブズ 票の会	みなと かがやき	港区民 クラブ	仲間へ 勇気の会	ネットみ なと社民	議決結果
専決処分について (平成15年度港区一般会計補正予算(第13号)) 〈8,883万円増額 総額765億6,356万2千円〉 ●補正の主な内容 衆議員議員選挙等執行経費	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分について(損害賠償額の決定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
港区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 〈職員の給与改定(給料月額引き下げ等)〉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区職員の退職手当に関する条例の一部を改正する 条例〈退職手当の最高支給率の引き下げ等〉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区特別工業地区建築条例〈特別工業地区内におけ る工場等の建築等の制限に関し必要な事項を規程〉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区立授産所条例を廃止する条例〈港授産所の廃止〉	○	○	×	○	×	○	○	○	○	原案可決
港区立福祉会館条例の一部を改正する条例 〈西桜福祉会館の仮施設への位置の変更他〉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区立保育園条例の一部を改正する条例 〈南青山保育園及び芝保育園の位置の変更〉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例 の一部を改正する条例〈養育費の所得認定〉	○	○	×	○	○ ×	○	○	○	○	原案可決
平成15年度港区一般会計補正予算(第4号) 〈2億9,509万4千円増額 総額768億5,865万6千円〉 ●補正の主な内容 生活安全活動推進経費の追加 他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成15年度港区国民健康保険事業会計補正予算(第1号) 〈6億5,244万4千円増額 総額149億8,210万1千円〉 ●補正の主な内容 老人保健拠出金の増 他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成15年度港区介護保険会計補正予算(第2号) 〈1,042万6千円増額 総額78億4,009万円〉 ●補正の主な内容 諸支出金の増 他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
物品の購入について(新図書館システム機器の購入) 〈契約金額 2億1,000万円〉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
特別区道路線の廃止について(虎ノ門3丁目) 〈特別区道121号線の廃止〉	○	○	×	○	×	○	○	○	○	原案可決
特別区道路線の認定について(高輪一丁目) 〈特別区道1,153号線の認定〉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区立学校設置条例の一部を改正する条例 (飯倉小学校の廃止)	○	○	×	×	×	×	○	×	×	原案可決
芝公園二丁目住民の生活安全に関わるワンルーム マンション「(仮称) アビテ芝公園」に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択
小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税の減 免措置の継続につき意見書の提出を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択
都市計画税の軽減措置の継続につき意見書の提出 を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択
小規模非住宅用地に係る固定資産税の軽減措置の 継続・拡大等を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択
「デュークガーデン元麻布建設計画」に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択
「デュークガーデン元麻布新築 工事」に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択
(仮称) グラサ白金高輪港区三田5丁目236番地新築 計画案から裏道(生活道路)の安全を守るための請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択

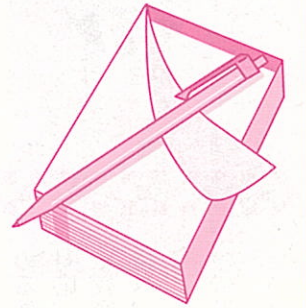
(平成16年第1回臨時会)

港区国民健康保険条例の一部を改正する条例 〈賦課方式の変更〉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を 改正する条例 〈幼稚園教育職員の給与改定(給料月額引き下げ等)〉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
国として介護保険の低所得者向け減免制度を確立 することを求める意見書	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
固定資産税・都市計画税の軽減措置の継続を求め る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
東京都食品安全基本条例(仮称)制定についての意 見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
介護保険制度に関する要望書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
渋谷川・古川多目的貯留施設整備に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決



固定資産税・相続税の
負担軽減を求める陳情
中央区とともに
国・都に直接陳情
12月24日、区民の代表と議
長・区長が、固定資産税・相
続税の負担軽減を求め、総
務・財務大臣、政府税制調査
会会長、都知事及び都議会議
長に対し陳情しました。

議員の住所変更
・湯原 信一 議員
港区芝浦2-3-27 806
電話 (5445) 5001



介護保険制度に関する要望書(要旨)
介護保険制度における保険料及び利
用料の区独自軽減策については、港区
議会全会派一致の要望に基き、保険料
の全額徴収が開始された平成十三年十
月当初から実施されました。
すべての高齢者が安心して介護保険
制度を利用できるよう、保険料及び利
用料の軽減策について、都心区の特
性を踏まえ、住宅費を考慮するなど収入
基準や世帯員数を考慮した預貯金限度
額など、要件を緩和する必要があるま
す。
高齢者の尊厳を支え、安心していき
いき暮らすことができる地域社会の確
立を目指して、社会全体で介護を支え
るという介護保険制度の理念を踏まえ
つつ、介護保険料及び利用料における
低所得者対策を拡充していただけるよう
強く要望いたします。
平成16年1月16日
港区議会議員 佐々木 義信
港区長 あて

山越 明 菅野 弘一
熊田 ちづ子 小齊 太一郎
秋元 ゆきひさ 矢野 健一郎
林田 和雄

編 集 委 員

あ と が き
▼本号は、16年第1回臨時会を開会
した関係で、発行が遅れました。
▼イラン南東部を襲った地震の被災
者の方々に、議会は区長とともに
見舞金をお届けしました。
▼次回の定例会は、2月に開会され
る予定です。